



# ACKU 151st 例会 HaksanView

## 鷲ヶ岳ログハウス・春スキー登山

**2012年3月17日 土曜日**

終日雨。井上夫婦は前日に山荘に入って準備。午後になると次々に参加メンバーが到着。案内書の写真が北側のもので、入り口の南側と良く似ているが少し違うので最初の金井良碩車には混乱させたようだが無事に到着。田中信行車は白鳥インターから12kmだが、20kmと読み間違えて明野を行過ぎて鷲ヶ岳スキー場の入り口まで行って引き返してきた。和光車も橋本車もそれぞれ到着。山荘は一気にぎやかになった。原田さんは皆が待っていたが来なかった。



HaksanView裏側



こちらが表です  
井上山荘 HaksanView



中園山荘

\*\*\*\*\*

「例会担当理事より鷲ヶ岳スキー場の傍に最近完成しました弊宅(ログハウス)を開放せよとのご指示がありましたのでそこをベースにしたスキーと登山を計画しました。近くに鷲ヶ岳温泉、湯の平温泉、白鳥美人の湯、母袋温泉などの温泉が多数あります。近いのは車で10分、一番遠い母袋温泉でも30分です。

なにぶん小さな家ですので十分なもてなしが出来ませんが気楽にご来訪いただければ幸いです。

近くに中園卓爾さんの山荘があります。このたびオ・ブンしていただける事になりました。

幹事 井上達男

\*\*\*\*\*

と言う案内で最終的に14人の参加となりました。平井名誉会員は体調不良でキャンセル、原田会員は最近emailのチェックをしていないので案内を見なかったということで欠席でした。食事は井上山荘(HaksanView)にて皆でにぎやかに楽しみ、宿泊は中園山荘に分宿しました。

大人数の食事を井上夫婦で賄う計画で二人は出来るのかと心配したが、初日の夕食は二つの鍋としたが、何とかなっで一安心。有馬会員の差し入れである「カンパチ」も刺身に裁いて食卓を賑わした。酒はたっぷりあったが、ビールかたちまなくなつた。その他の雑種にはあまり手が出ないよう山屋にしては贅沢だと思ったが、仕方ない、明日も買出しに行くこととなった。

\*\*\*\*\*



## 計画概要

期日・場所 2012年3月17日(土)~20日(火) **HaksanView**

- 白山ビュー(井上自宅)及び中園山荘をベースハウスとして活動(4日間オ・ブンします)
- 食事は井上山荘にて、就寝は中園山荘に分宿

会費 一泊 ¥3,000- (食費-飛騨牛など、お酒、暖房薪代)

皆さん良く飲まれて少し赤字になりました。

## 行動計画

- (1) ゲレンデスキー (鷲ヶ岳スキー場、ダイナランドなど)
- (2) 山スキー・登山 (大日ヶ岳1709m 毘沙門岳1385.5m 鷲ヶ岳1671.6mなど)

個人装備 冬山一式 シュラフ

## 連絡先

井上達男 〒523-0894 近江八幡市中村町 37-10 ウインズ 22-111

tel 0748-33-9359 携帯 090-4796-7853 email: sherpokangri@gmail.com

HaksanView 〒501-5304 郡上市高鷲町鮎立明野 6037-15

(A:東海北陸自動車道高鷲インター出、鷲ヶ岳スキー場方面へ、やまびこ道路交差点右折(南下)、5km約10分

B:東海北陸自動車道白鳥インター出、最初の信号右折、道なりに明野フォレストビュー看板右折、12km約20分、地図参照)

中園卓爾 携帯:080-5167-5129

参加者(敬称略): 14人+3人

金井健二、豊田、田中信、土山、高田和、有馬、金井良、中園夫妻、緒方、和光 橋本HNA、井上夫妻

平井名誉会員と原田会員は参加できず。次回は是非参加願います

JAC 山内さんと知人の吉村氏(東北大学山岳部OB)と阪上さんが飛び入り参加

## 参加者行動予定

高鷲・明野 参加者リスト

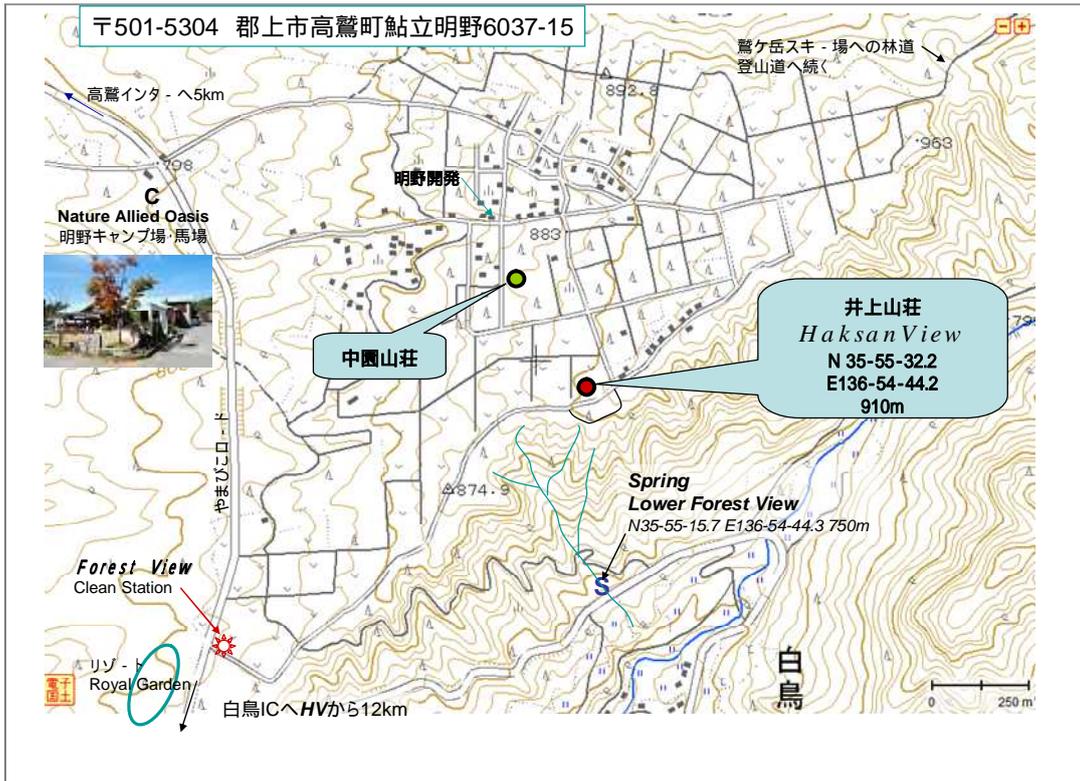
N 中園山荘 I 井上山荘

参加者			2011/3/16		2011/3/17		2011/3/18		2011/3/19		2011/3/20	
NO	参加者	車提供	金	宿	土	宿	日	宿	月	宿	火	
1	金井良碩		-	-	午後入山	I	滞在	I	滞在	I	午後下山	
2	金井健二		-	-	午後入山	I	滞在	I	滞在	I	午後下山	
3	緒方俊治		-	-	午後入山	I	滞在	N	滞在	N	午後下山	
4	和光広典		-	-	午後入山	I	滞在	N	滞在	N	午後下山	
5	豊田寿夫		-	-	午後入山	I	滞在	N	滞在	N	午後下山	
6	有馬誠		-	-	午後入山	I	滞在	I	滞在	I	午後下山	
7	田中信行		-	-	夕方入山	I	滞在	I	滞在	I	午後下山	
8	土山尚彦		-	-	夕方入山	I	滞在	N	滞在	N	午後下山	
9	高田和三		-	-	夕方入山	I	滞在	N	滞在	N	午後下山	
10	橋本昭				午後入山	I	滞在	I	滞在	I	午後下山	
11	中園卓爾		-	-	-	-	午後入山	N	滞在	N	午後下山	
12	中園興様		-	-	-	-	午後入山	N	滞在	N	午後下山	
13	井上達男		午後入山	I	滞在	I	滞在	I	滞在	I	午後下山	
14	井上涼子		午後入山	I	滞在	I	滞在	I	滞在	I	午後下山	

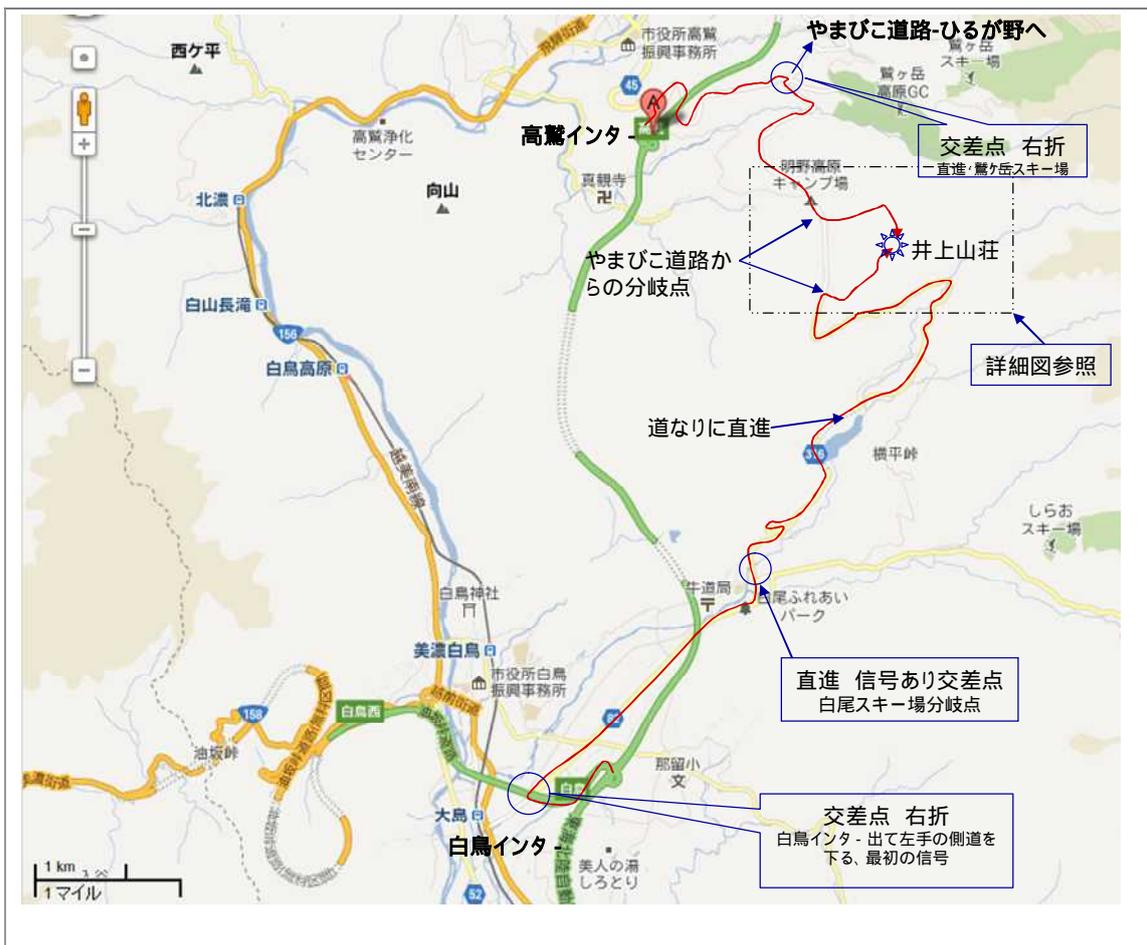


記事:各車、配車待ち合わせなどは車提供者を軸に打ち合わせ願います。

山荘の場所



アクセスマップ





<<<<山荘利用時のお願い>>>>

**全室禁煙**

無垢の木の香りを楽しんでください 喫煙はベランダにてお願いします

**バイオ污水处理**



- (日本一の清流、長良川の源流で河川汚染を厳しく防止しています)
- \* トイレは備え付けのトイレットペーパー以外は流さないでください
- \* 流しには油、カレー汁、食べ物カスなど流せません。洗剤は極力使いません。重曹で食器を洗っています。

**世界一美しい炎のヨツール(Jotul- F500)ストーブ**

- \* Dancing flame (踊る炎)をゆっくり観賞してください。Jotul だけの美しい燃え方だそうです。
- \* ストーブは薪専用となっています。紙やプラスチック類、食べ物のカスなどは燃やさないでください。煙道のタール付着原因となり、将来煙道火災の原因となります。
- \* 130~150 程度の燃焼がベストです
- \* ログが温まると朝まで家全体に余熱が残ります

**窓・戸・階段**

- \* ガラスは全てガス封入のペアガラスで断熱と紫外線カットとなっています。
- \* 引き戸を含むドアは木製です。重いですからゆっくり操作してください。
- \* 窓の開閉はロックが脆弱です。無理に開閉ハンドルを廻さないでください。\* ロフトは急階段です。上り下りはクライミング・ダウンでお願いします。

**スキ - 置き場**

- \* 地下にスキーを保管してください。地下は乾燥していますので乾きます
- \* 靴も玄関が狭いので濡れていない場合はデッキか地下に置いてください。

\*\*\*\*\*

**2012年3月18日 日曜日**

雨は止んだが曇天 朝食後皆さん驚ヶ岳スキー場に出かけた。

夕方から中園夫妻が到着。夕食後に何人かが中園山荘に寝に行った。

中園夫人は到着すると早速台所に入ってテキパキと食事の準備をしてくださる。メインはおでんだったが、色々出てきて皆さん満足されたようだ。昨晚残しておいた「カンパチ」の刺身も加わって昨日刺身が無くなってすから到着の三人も今日はその美味にありつけた。



井上 高田和 和光 土山  
中園 有馬 井上夫人 中園夫人 金井健 金井良  
橋本 田中信 豊田 緒方

2012年3月19日 月曜日

## 大日ヶ岳 1709m スキー登山

中園夫人の賄い参加でスキーに出かけることを許されて井上も参加することとなり、大日ヶ岳 1709m 登山のリーダーをおおせつかった。

8:40 ひるが野 車一台デポ

大日ヶ岳から滑降するルートはひるが野高原に下る尾根とした。一台車を下山場所にデポする。スキーで下ってくると車の場所を見つけるのに苦労するであろうと考えてGPSにWaypointを登録しておいた。これが功を奏して下山時にはピッタリ車にもどることができた。

スキーツアーはひるが野へ下る尾根と決まったが、スキー場で過ごす者も含めて全員が大日ヶ岳 1709m の頂上を目指すことにした。

大日ヶ岳にACKUが初めて例会を行ったのは平井名誉会員の退官記念登山として実施した1995年3月18日だった。大日ヶ岳スキー場のリフト頂上は当時標高1300mだったが、そこから2時間、2ピッ



チで頂上に達している。総勢 23 人の大パーティだった。天気は悪かったが新雪を現在の高鷲スノーパークになっているコースを吠谷の南の台地に下った。ブナの林の滑降はカモシカに出会ったりして山スキーの醍醐味をたっぷり味わった。翌年にはスキー場になってしまったのであれが最後の自然林の滑降だった。翌年 1996 年 3 月 9 日、再び大日ヶ岳に登っている。今回は 3 回目だ。



田中信 土山 豊田 和光 緒方 金井健 高田和  
中園 井上 有馬 金井良  
高鷲スノーパーク 駐車場 2012/3/19 9:08AM

9:48 ゴンドラ頂上出発

ゴンドラの一回は 1500 円、シニアの一日券は 3500 円。一回はもっと安くして欲しいものだ。多が、1510m まで楽に連れて行ってくれるので文句は言えないか。昔は 1310m までリフトが登っていたので 200m スキー場が広がった。



9:48 ゴンドラ頂上から出発



9:55 標高点 1575m 付近を登る有馬、豊田



9:58 大日ヶ岳手前のピ - ク 1650m を登る 3 人組



10:04 3 人組は JAC 山内さんのパ - ティだった

大日ヶ岳 1709m の頂上がスキー場から近くなったのでスキーヤーもボーダーも天気がよいと退去して頂上にやってくるようになった。



10:24 P2(1650m)



10:29 白山と別山は真っ白 手前は大日ヶ岳



10:30 大日ヶ岳 1709m へ最後の登り



10:51 山頂の山内パ - ティ 雪片がレンズに

10:32 大日ヶ岳 1709m 頂上に皆から一足先に登頂

10:37 山内さんの Party が登頂

11:00 ACKU 組も 7 人登頂

山頂で JAC 関西の山内さんにばったり出会う。そうとは知らずに井上は途中で追い抜いた。11 時にはバラバラに登ってきた 7 人が頂上に集結した。登頂者は、豊田 金井良 高田和 井上 有馬 緒方 橋本だった。金井健、田中信、土山、中園、和光は途中からスキー場に引き返した。

山頂からは白山が眼前に純白の衣装を着て青空に浮かんでいた。



この白さ! 白山だ 大日ヶ岳 1709m 頂上にて



7人/12人が登頂 11:19

豊田 金井良 高田和 井上 有馬 緒方 橋本

11:24 滑降開始

山内さんのパーティ3人とACKU金井良、井上、緒方と橋本の4人が一緒にひるが野に下る。豊田、高田、有馬はスキー場へ引き返す。



11:24 大日ヶ岳 1709m の山頂から滑降開始



11:30 アイスバンの下り 斑に新雪



11:37 橋本 山内



11:51 大日ヶ岳 1709m を振り返る 1590m にて

ひるが野へは大日ヶ岳の頂上から直接下っている尾根を 1590m の肩まで滑り、そこから右手に別れて 1300m 付近の一服平までゆるやかな尾根沿いにする。1273m の標高点から再び右手に別れるのだが、この 1273m の手前で北東に伸びる明瞭な支尾根があって、そちらに誘い込まれ易い。1273m への稜線は右手に斜面となって下っているのだからちょっと注意が必要な場所だ。GPS で確認して 1273m の方に下った。ここは急斜面で立木の根元が融雪していて横滑りと斜滑降キックターンでやり過ごす。



12:25 1396m ピーク付近 山内 阪上 吉村



12:55 1273m ピークへの下り



14:15 1049m ピークから雪の剥けた急斜面をふり返る



15:06 もうすぐ送電線

1150m から 1100m にかけては稜線の雪が剥げて地面が出ていた。スキーを外して下ったが橋本、吉村、阪本は稜線から北側の斜面に外れてまだらな雪を伝いながら下った。歩くほうが楽で速い。雪



が腐ってきたのでブッシュの中の滑降はさまにならない。



14:50 鷲ヶ岳 1671.6m と白尾山 1612.5m がひるが野を隔てて対岸に全貌を現す

大日ヶ岳 1709m と鷲ヶ岳 1671.6m は長良川の源流の山だ。ひるが野を挟んで東西に屹立して一大景観を創り出している。大日ヶ岳は白山の前縁の山でもあり長滝神社から白山を目指した昔の人々にとってはまず目に付いた大きな山であろう。



15:23 車を駐車した林道の 100m 上にぴったりと滑り降りた。GPS のおかげだ



15:25 迎えに来てくれた和光君

蛭ヶ野から吠谷を渡って高鷲スノーパークに至る林道があるが、吠谷夫婦滝の少し上流 920m 付近に車を止めていた。それで、送電線を越えてから右手の林道に下る斜面を探しながら滑っていったが南斜面のために雪が少なく笹が出ていて善い場所がなかった。980m 付近で右手に緩やかで広く開けた谷



# ACKU 151st Tour report

が植林の林に続いていた。これだと決めて滑り下ったら笹の切れ目から林道に出ることが出来た。車まではあと 100m の絶好の位置だった。

15:25 高鷲スノーパークから迎えに来てくれた和光君と合流

当初はデポした車一台で下山できる予定だったが山内さんの Party3 人が増えたのもう一台必要になった。山内 Party は下山後の足が懸案であったが、ダイナランドまでの足が確保できた。ついでに井上山荘に泊ることになった。4 時間かけて下ったが特に困難でも過酷でもなかった。ただゆっくりしただけです。



19:13 山内さんパーティも合流



19:13 中園、井上両婦人ご苦労様



19:12 狭いダングですみません



19:12 仲のよい二人

湯ノ平温泉に入って HaksanView に帰宅。湯の平温泉は皆さんお気に入り。美人の湯より安いし温泉らしいぬるぬる感がある。長良川が最後に二股に別れて大日ヶ岳 1709m と鷲ヶ岳 1671.6m に登っていく分岐点の直ぐ下の右岸にある。



キッチンで皆の酒の肴を準備するご婦人方、ご苦労様  
JACの三人組を入れて17人のPARTYになりました 有馬さんの姿が見えません

**2012年3月20日 火曜日**



信さんから新築祝いをいただきました



霧がながれてきたHaksanViewの庭



三々五々参加者が帰宅の途に付いた後、家内(涼子)と二人で後片付けに精出した。午後三時までかけて綺麗になりました。 スト - プを清掃し週末に備えてHaksanViewを後にしました。

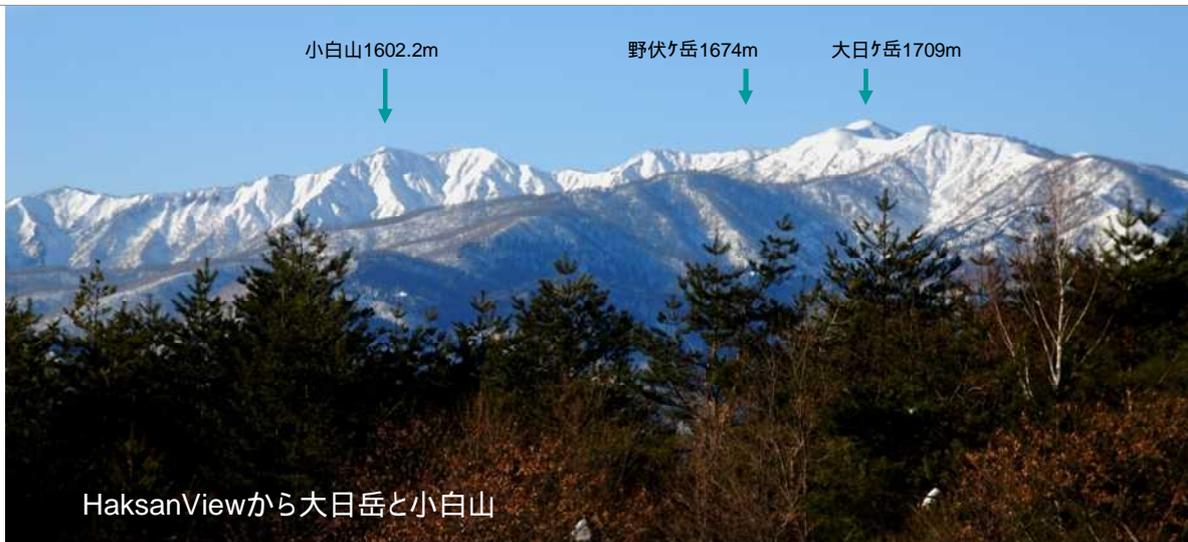


二人仲良く台所 土山さん撮影



解散: HaksanViewの前で 土山さん撮影

山内 Party は朝から鷲ヶ岳 1671.6m に登った。頂上付近は雪が硬くてアイゼンを装着したそうだ。午後 3 時半に無事下山された。



(以上 記録 幹事 井上 達男)